

17 スミスネズミ
Eothenomys smithii

(ネズミ科)

兵庫県ランク:要調査
環境省ランク:-

種の概要

本州、四国、九州の低地から高山帯までの山地に生息している日本の固有種である。植林地や山間の畑などからも見つかっている。湿潤な場所を好む。明治時代に六甲山系でタイプ標本を採取したスミス氏にちなんでこの名がついている。



県内における生息状況及びその他特記事項

県内の生息状況は、高標高地域と六甲山系から得られているが、ハタネズミとの識別が難しいため、見逃されている可能性もある。

写真提供:鈴木 武

保護上の留意点

生息状況の把握に努める必要がある。

県内分布

神戸市、宍粟市、養父市、香美町、新温泉町

【執筆者】横山 真弓

主要な選定理由

人為性	激減	
	環境	○
	捕獲	
	遺伝	
特殊性	特殊	○
	孤立	○
学術性	極限	
	限界	
	希少	○

